

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 西田、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3386

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和4年第17週（令和4年4月25日～令和4年5月1日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告


病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	226	209	4,157
腸管出血性大腸菌感染症	3	27	22	249
梅毒	3	114	128	3,027

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	0	0.00	-	18	0.00
RSウイルス感染症	16	0.13	0.89	416	0.13
咽頭結膜熱	24	0.20	1.33	322	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	92	0.77	0.98	907	0.29
感染性胃腸炎	642	5.35	0.92	12,849	4.09
水痘	21	0.18	1.75	224	0.07
手足口病	6	0.05	1.20	374	0.12
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	41	0.01
突発性発しん	73	0.61	1.07	1,190	0.38
ヘルパンギーナ	3	0.03	-	32	0.01
流行性耳下腺炎	3	0.03	0.75	121	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	1	0.00
流行性角結膜炎	1	0.04	0.33	105	0.15
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	5	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	6	0.01
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	5	0.01
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	4	0.01

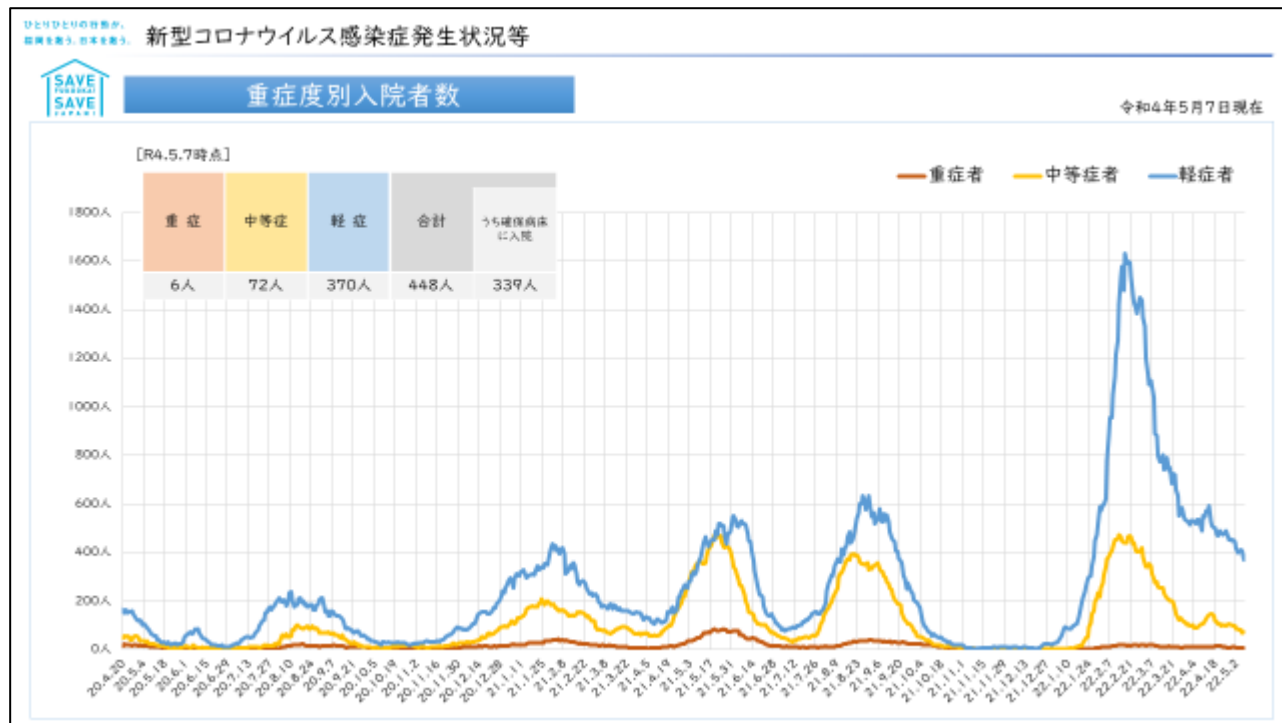
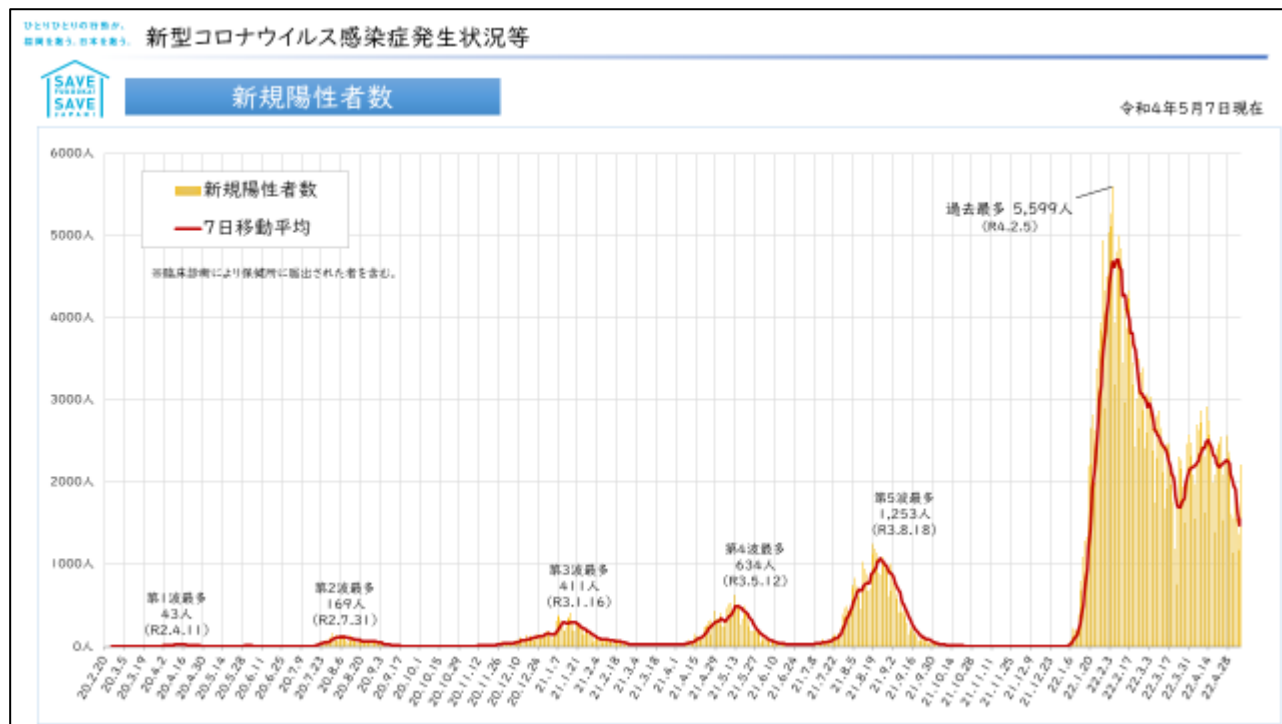
: 警報レベル

: 注意報レベル

■ コメント

- 今週も腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。腸管出血性大腸菌感染症の一般的な症状は、腹痛、水のような下痢、血便です。子どもや高齢者が感染した場合は重症化しやすく、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起こす場合があります。腸管出血性大腸菌は、生肉や加熱不十分な肉を食べること等で感染します。肉などを調理する際は十分に加熱（75℃以上で1分以上）しましょう。また、患者の便等で汚染された手を介して人から人へも感染することや、感染しても発症しないことがあり、知らずに家庭内で感染を広げることがあります。調理前、食事前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihe.s.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>